

交対協だより5月号



福島県
福島県交通対策協議会
(事務局 福島県生活交通課)
令和6年5月22日

自転車安全利用強化月間(5月)実施中! ～自転車ヘルメット着用率の向上～



福島市 新浜公園前



福島市 ダイ-イトMAX前

自転車安全利用強化月間に合わせて、福島警察署、福島地区交通安全協会、福島地区交通対策協議会等と協力し、自転車ヘルメット着用啓発キャンペーンを実施しました。道路交通法の改正により、令和5年4月1日から自転車利用時のヘルメット着用が努力義務となっています。着用を躊躇している方から、「ヘルメットの持ち歩きが面倒」などの声もありますが、万が一の**交通事故被害に遭った際、致命傷となりやすい頭部を守るため**、自転車利用時は、ヘルメットを着用しましょう。また、家庭内や職場でも、着用を呼び掛けましょう。

交通安全CM
YouTube配信中!

邪魔だと思っていない?
ヘルメットもコンパクトに持ち歩けます!

- 折りたたみ式ヘルメット
コンパクトに折りたたむことができるので、持ち運びに便利です。鞆やロッカーに入れても邪魔になりません。
※購入の際は、安全基準を満たしているものをおすすめです。(ISGマーク、JISマーク、CPSCマーク、CEマーク等)
- ヘルメットホルダー
自転車に取り付けるタイプのもや鞆に取り付けるタイプのものもあります。
自転車に取り付けるタイプのものには、盗難防止のため、ロックがかけられるものもあります!

めっちゃ便利!

写真提供: オージーコーポレーション

農耕車の交通事故防止について

～水路への転落・傾斜地での横転・公道での追突事故に要注意!～

①作業前における機械の点検・整備および周辺環境の確認はしっかり行いましょう!

傾斜地だけでなく、平地でも条件によっては転倒します。
作業前にほ場内の凹凸や軟弱状態などを確認し安全な操作をしましょう。

②可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう!



- 転落・転倒時に、安全フレームは「安全域」を確保してくれます。
- 安全域にとどまるためには、シートベルトの着用が必須です。

③シートベルトは必ず締めましょう!

シートベルトを着用することで大幅に死亡事故を減らすことができます。あわせて頭部を守るため、ヘルメットも着用しましょう。

※ トラクターのシートベルト ～道路走行時着用義務化へ～
大切な命を守るため、義務化前の今から着用を習慣づけましょう!

農耕作業用特殊車乗員のシートベルト着用の有無ごとの死傷の状況(平成27～令和元年)

シートベルト着用時と非着用時で死亡率に約8倍の差があります!

	死亡者	重傷者	軽症者	合計
シートベルト着用	3 (3.2%)	10 (10.8%)	80 (86.0%)	93
非着用	148 (24.5%)	175 (29.0%)	281 (46.5%)	604
不明	5 (10.2%)	24 (49.0%)	20 (40.8%)	49
合計	156	209	381	746

(公財)交通事故総合分析センターの集計結果より農林水産省作成

○ 4月に発生・計上された死亡事故は5件5名でした。

死亡事故の内訳は、人対車両の事故が3件、車両相互の事故が1件、車両単独の事故が1件の計5件でした。前年同月比は3件3名の減少、本年1月から4月の累計では19件19名の死亡事故が発生しており、前年比2件の増加、1名の減少となりました。物件事故を含めた県内の交通事故総数も増加しており、交通事故防止対策を強化していく必要があります。

◎ 交通事故発生状況

(R6.4月末累計)

	発生件数		死者数				傷者数		物件交通事故	
	4月	累計	4月	累計	うち高齢者		4月	累計	4月	累計
					4月	累計				
令和6年	225件	893件	5人	19人	1人	10人	272人	1,044人	3,731件	16,150件
令和5年	239件	934件	8人	20人	5人	10人	269人	1,075人	3,642件	15,307件
増減数	-14件	-41件	-3人	-1人	-4人	0人	3人	-31人	89件	843件
増減率	-5.9%	-4.4%	-37.5%	-5.0%	-80.0%	0.0%	1.1%	-2.9%	2.4%	5.5%

◎ 地方振興局別交通事故発生状況

(R6.4月末累計)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	高速道	合計
発生件数	185件	238件	85件	89件	5件	65件	213件	13件	893件
前年同期比	-36件	-32件	28件	13件	2件	8件	-28件	4件	-41件
死者数	2人	5人	2人	3人	1人	2人	3人	1人	19人
前年同期比	-2人	-1人	1人	0人	1人	1人	-1人	0人	-1人
傷者数	216人	277人	92人	104人	5人	91人	246人	13人	1,044人
前年同期比	-40人	-30人	27人	11人	1人	23人	-21人	-2人	-31人

全席シートベルト着用で大切な命を守る！ ～6月はシートベルト着用強化月間です！～

シートベルトの高い救命効果

令和5年中の福島県内の四輪乗車中の死者は31人中、シートベルト非着用者は7人(約23%)でしたが、うち6人(非着用死者の約86%)は着用していれば救命効果があったと思われます。

後部座席のシートベルト着用は義務です！



2023 警察庁/JAF 調査 福島県シートベルト着用率



シートベルト・チャイルドシート非着用の危険性

1 車内で全身を強打する。

時速60kmで壁などに激突すると、高さ14mのビルから落ちるのと同じ衝撃を受け、全身がハンドルや前席、天井などにたたきつけられます。

2 車外に放り出される。

衝突の勢いが激しいと、車外に放り出され、路面に体を強打したり、後続車にひかれる可能性があります。

3 同乗者に被害を与える。

衝突の勢いで、後部席同乗者が前の座席にぶつかり、前の席の人がシートとエアバックに挟まれ、頭に大けがをする危険性があります。

チャイルドシート使用状況

